



# アンケート調査概要

項目	内容
調査名称	こども誰でも通園制度(仮称)に関するWEBアンケート調査
調査方法	インターネット上での回答
調査期間	2023年11月24日(金)～11月30日(木)
調査対象	全国の障害児・医療的ケア児の家族
回答数	149件

# こども誰でも通園制度（仮称）の課題・ニーズについて 全国の障害児・医療的ケア児の家族 149人に調査しました

・アンケート実施主体：認定NPO法人フローレンス

・調査方法 インターネット調査

・調査対象 全国の障害児・医療的ケア児の家族

・調査時期 2023年11月24日～11月30日

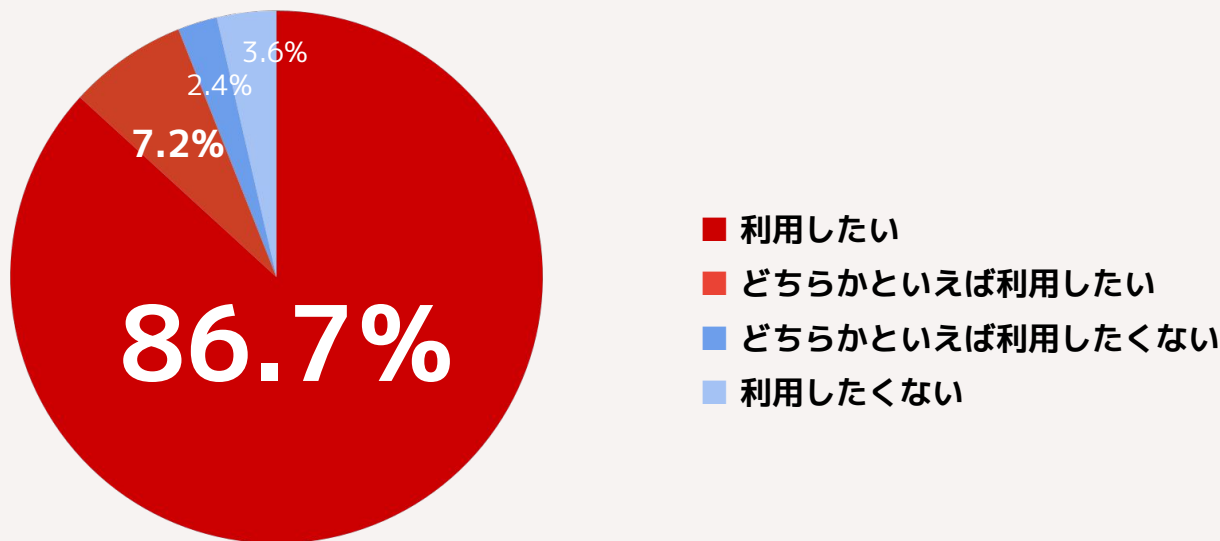
・回答数 149人

# 調査結果サマリー | アンケート調査

## 約 9 割の家族が、 就労の有無を問わない定期的な保育を「利用したい」と回答

〈もし就労の有無に関係なく、週1など定期的に保育を公的サービスとして受けられるなら、利用したい（したかった）ですか〉

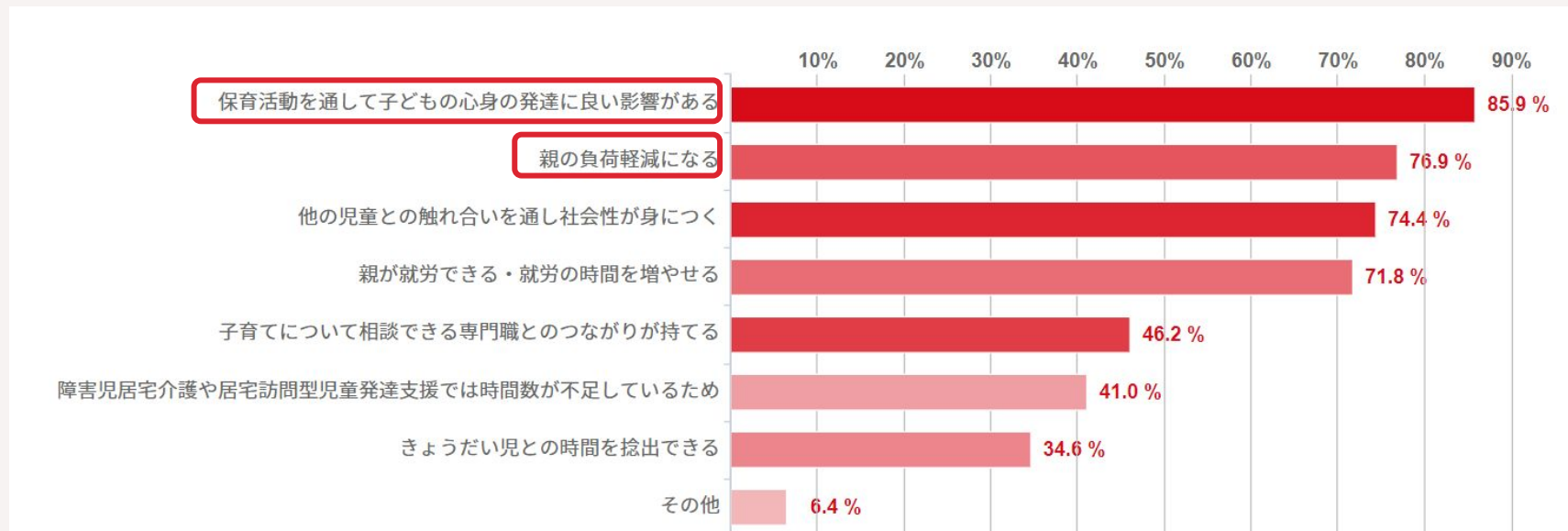
n=83  
※保育サービス未利用家庭



# 調査結果サマリー | アンケート調査

## 保育を希望する理由は 「こどもの心身の発達」「親の負担軽減」など

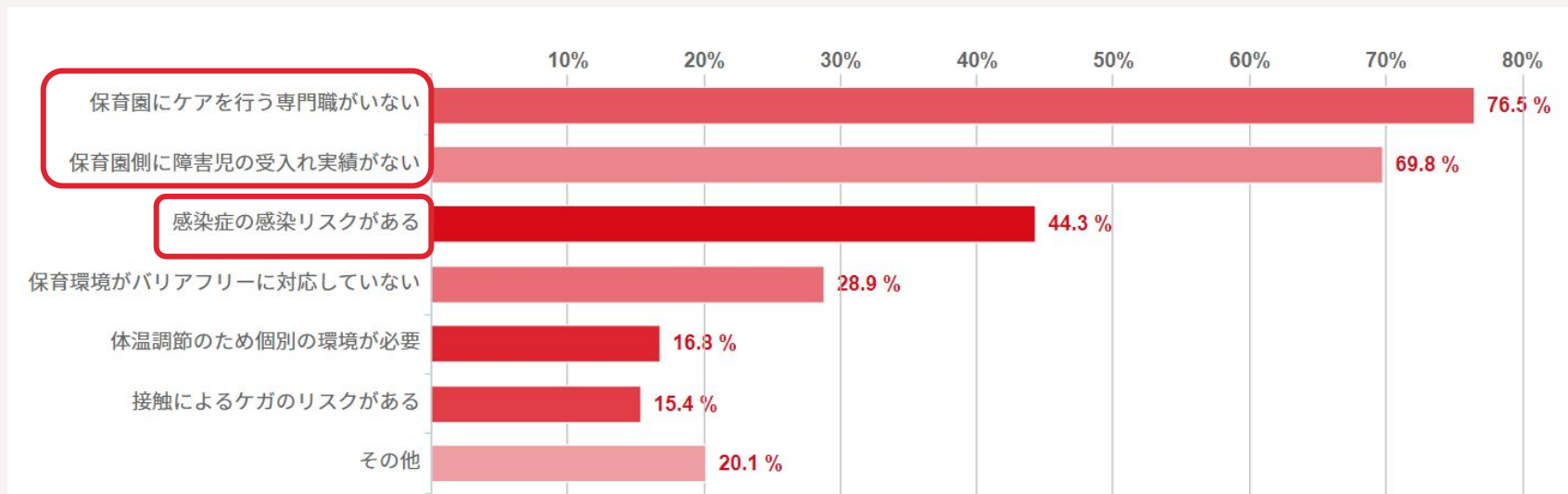
〈保育の利用を希望する理由をお聞かせください〉



# 調査結果サマリー | アンケート調査

しかし、保育を希望していても「**保育園側の受け入れ体制のなさ**」  
「**感染リスク**」を理由に集団保育を受けられないお子さんも

〈保育園（集団保育を行う保育施設）への入園が難しい理由として考えられるものは何ですか〉



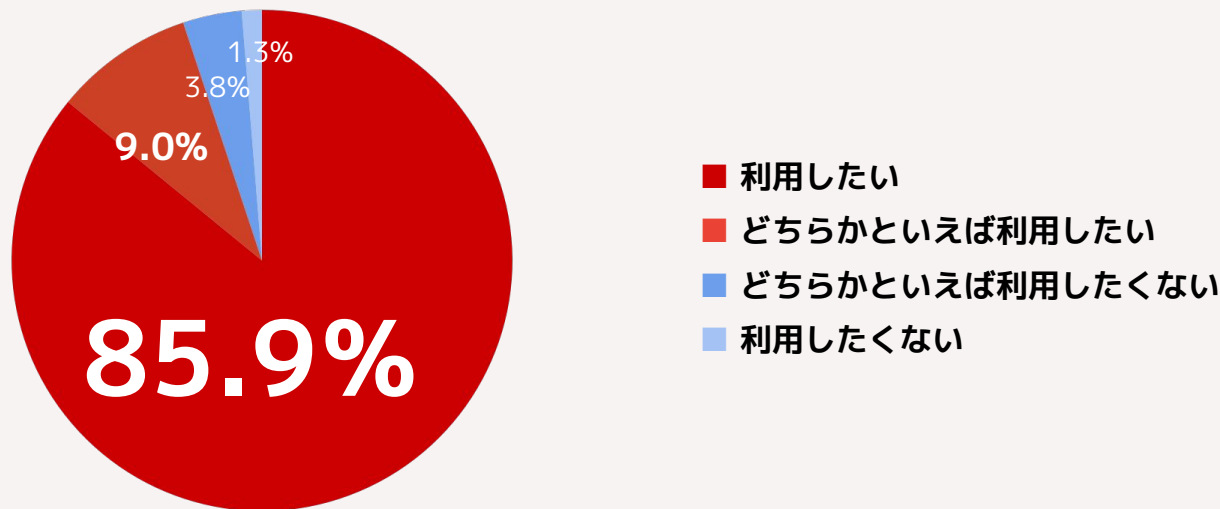
# 調査結果サマリー | アンケート調査

集団保育が難しい場合、

**約 9 割**が**居宅訪問型保育**の利用を希望

〈もしも保育園（集団保育を行う保育施設）への入園が難しい場合、  
保育士がご自宅に伺うマンツーマンの居宅訪問型保育を利用したい（したかった）ですか〉

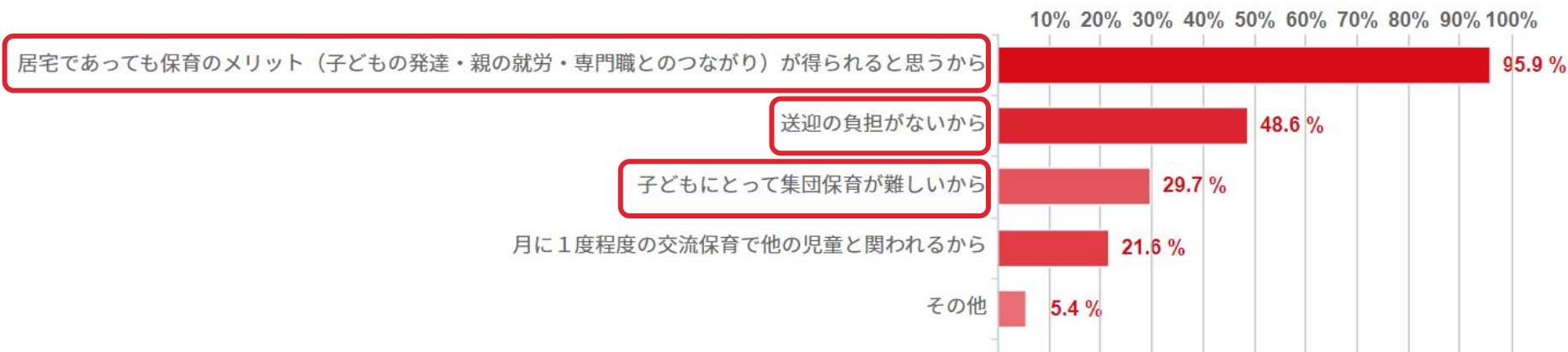
n=78  
※保育サービス未利用  
かつ利用希望家庭



# 調査結果サマリー | アンケート調査

「居宅であっても保育のメリットが得られる」という意見のほか、「送迎の負担」や「集団保育の難しさ」から居宅保育を希望する声も

〈（居宅訪問型保育を利用したい/したかった）その理由をお聞かせください〉





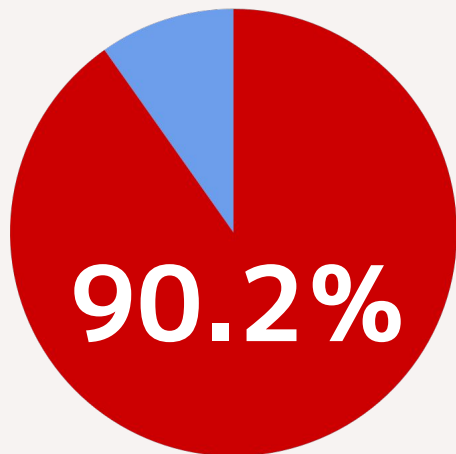
# 調査結果サマリー | アンケート調査

## 利用家庭が感じる、居宅訪問型保育の子どもの成長・発達に対する効果

〈居宅訪問型保育を利用して感じた良い点を教えてください〉

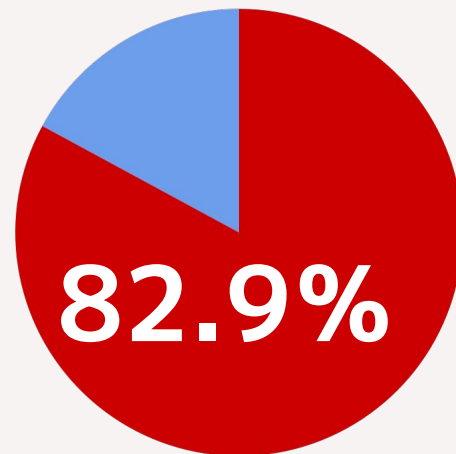
「保育のプロと過ごすことで発達に良い影響がある」

と答えた人が**約 9 割**



「親以外の大人と交流できて刺激になる」

と答えた人が**約 8 割**



n=41  
※居宅訪問型保育  
利用家庭

# こども誰でも通園に対するご意見①

## こどもの成長・発達

医療的ケアがあると感染リスク高く重症化につながりやすく、通常の感染対策意識に不安があるため**通園したくても不安で通園できなかった**。(中略) **親以外の人と過ごす時間が子供らしい成長の時間になる**と思う。

(身体障害/医療的ケアのある子の母)

障害の有無に関わらず保育はあるべきで、子供の病気の度合いにより通園が困難になり、**保育での学びの機会を失うことはあってはならない**と思います。

**感情の表出が難しい子であっても心の中はぐんぐんと成長していきます**。

**居宅訪問型保育は、どの子も平等に当たり前の保育での学びや経験を得ることのできる場だと考えます**。

(身体障害/知的障害/医療的ケアのある子の母)

みてもらえる通学園がない中で、**医療的ケア児も発達面の促される機会がほしい**です。対象外にされるのは不本意です。

(医療的ケア児の母)

ママと二人だけの閉塞した時間空間から**喜びの刺激を受けるチャンス**を与えてあげたいです。

(身体障害/知的障害/医療的ケアのある子の祖母)

医療的ケア児の親は、睡眠時間を削って毎日毎日終わりのないケアをしています。(中略) **子どもらしく遊んでやる余力はまったく残りません**。それでも、**子供らしいことを少しでも経験させてやりたい**のです。

(身体障害/知的障害/医療的ケアのある子の母)

## こども誰でも通園に対するご意見②

### 医ケア児にも選択肢を

医療ケアがあると、通常使えるサービスも利用困難です。（ベビーシッターや一時預かり施設など）  
そもそもの選択肢がないのに、何故奪う。  
（身体障害/知的障害/医療的ケアのある子の母）

こどもが気管切開をしており医療的ケアの必要があるため、通常の保育園に入れる事が難しく、また選択肢が少ない状況にあります。  
こども誰でも通園制度が医療的ケア児を対象にした居宅訪問型保育が対象になることで自分の未来の選択肢（労働に関してなど）が広がり、またもう1人こどもを考える可能性にも繋がると思いました。是非対象にしてもらいたい制度です。  
（医療的ケア児の母）

医療的ケアがあると預かってもらえる場がただでさえ少ない上に、体調管理など注意しなければならない点も多いので、保育の選択肢は多ければ多い方が良いでしょう。（身体障害/医療的ケアのある子の母）

集団保育が難しいが一時保育が必要な子どももおり、医療的ケアが必要な子どもに対しては居宅型保育がどうしても必要なので対象に加えて欲しい。  
（医療的ケア児の母）

本当に必要性の高い家庭が除外されるような失望感がある。その立場にならないといかに選択肢が無いかがわからない。（身体障害/知的障害のある子の母）

# こども誰でも通園に対するご意見③

## 「誰でも」ではないのか

健全児だったら働いてなくても保育園にいけるのに、障害や病気があるだけで享受できない制度があるという状況にはしてほしい。特に未就学児のうちはまだ親が子どもの障害を受け入れきれていないことも多く、孤独感から死を考えることは決して珍しいことではない。

(中略) どうか、どんなこどもであっても社会で受け入れる世の中であってほしい。

(身体障害/知的障害/医療的ケアのある子の母)

医療的ケア児はそうでなくても受け入れが少ないのに、ここでも対象外にされないといけないのはなぜなのか。対象外がいるのであれば『誰でも』の名称は使わないでほしい。

(身体障害/知的障害/医療的ケアのある子の母)

そもそも医療的ケアがあろうがなかろうがみんな同じ国に生まれた子供。

誰でもと謳いながら障害を理由に排除するなんてこれ以上ケア児家族を社会から孤立させるような事をするのをいい加減やめて欲しい。

(身体障害/知的障害/医療的ケアのある子の母)

まず率直に「こども誰でも」の中に医療的ケア児は入れないのかという印象を持った。

さらに、集団で過ごしたいけど叶わないご家庭に向けた「保育」であることには変わらないのに、「居宅訪問」がつくと対象外になるなんておかしいと感じた。

(知的障害児の母)

# こども誰でも通園に対するご意見④

## 医ケア児家族の社会との繋がり

乳幼児の時から、どこにも所属できず不安な気持ちを抱えながら育児をしてきました。居宅であれ所属できる場所は社会とのつながりであり、居場所です。

(身体障害/知的障害/医療的ケアのある子の母)

(医療的ケア児家族に) 社会に出るチャンスをあげてほしい。孤育てをさせないでほしい。そういう孤独な環境が悲しいニュースにつながると思う。

(身体障害/知的障害/医療的ケアのある子の母)

居宅訪問型保育を対象外にするのはありえない。私はアニー(居宅訪問型保育)の保育を受けられて、自分の時間を待て、先生方に支えられて、人生に希望が持てました。

(身体障害/知的障害/医療的ケアのある子の母)

医療的ケア児に居宅訪問保育の誰でも通園制度が適用されたら、どんなに良いだろうと想像します。

(中略) 家庭に引きこもらざるを得ないことがどんなに過酷なことか? 行政の人間は想像したことがあるのでしょうか?

(身体障害/知的障害/医療的ケアのある子の母)

医療的ケアの必要なこどもをもつ親が働くというのは(中略) 本当に厳しい現実だと実感しています。

かと言って、働かないという選択をすると、ずっとこどもと二人きりで家にいて引きこもりのようになりがちで、社会から切り離されたような、自分たちだけ溝の隙間に落ちてしまったかのようなとても暗い気持ちになることが多かったです。

(医療的ケア児の母)

# こども誰でも通園に対するご意見⑤

## 就労のきっかけ

乳児期から医療的ケアがあることで、早々に職場復帰を諦め、退職してしまう親も多いと思います。私の場合は復帰を目指しましたが、週5日の預かり先がなく退職しました。

「こども誰でも通園」を可能にしていれば、一度諦めたキャリアも再度就労できる道が開けると思います。

(身体障害/知的障害/医療的ケアのある子の母)

就職活動する間のサポートとして、制度が利用できれば良いと思います。健常児であればベビーシッターを利用できますが、医療ケア児の場合、利用できない場合も多いと思います。

(医療的ケア児の母)

子どもに障害があるから就労できない、就労していないから保育園に入れない、というループを断ち切る画期的な政策だと思っています。

選択肢をひとつでも増やしたいです。ぜひ居宅訪問型保育も対象にしてください。

(身体障害/知的障害のある子の母)

(入園前は) 娘のケアで1日があっという間に終わっていました。そのような状況の中で転職活動をするのはかなり厳しかったです。

(中略) 様々な状況の中で子育てをされているご家庭をサポートできるような、より柔軟な制度になると思います。

(医療的ケア児の母)